

災害・防災について調べる

《防災》

災害・防災に関する資料の調べ方をご紹介します。

目次

1. 図書を探す
2. 参考図書で調べる

3. テーマごとに調べる
4. 防災情報をインターネットで調べる
5. 防災体験ができる施設の紹介

1. 図書を探す

■キーワードから探す

図書館の資料検索機や各種データベースを検索する際のキーワードの例です。

災害, 火事, 風害, 暴風, 台風, 豪雨, 豪雪, 洪水, 高潮, 津波, 地震, 土砂崩れ, 液状化現象, 地盤沈下, 噴火, ○○災害(自然災害, 気象災害, 土砂災害, 火山災害, 二次災害 など), ○災(火災, 震災, 被災, 防災など), 消防, 災害対策, 災害救助, 災害医学, 耐震, 防火, 避難, ハザードマップ, 阪神淡路大震災, 東日本大震災, 3・11 etc...

■分類記号(背ラベル)から探す

図書館の本は「日本十進分類法(NDC)」の分類順に並んでいます。

《関連分野の分類記号》 背ラベルの1段目の数字です。

369.3	災害・災害救助・災害対策	453.4	地震津波
369.31	震災・火山災害	453.8	火山学
450.9*	自然災害誌	498.89	災害医学
451.9*	気象災害誌	519.9	災害防止(工学)
453	地震学	524.9	防災構造

※「450.9」と「451.9」は、災害誌だけではなく、それ以外の自然現象、気象現象に関する資料も同一の分類となっています。ご注意ください。

※地域資料は、分類記号の前にアルファベットの“T”がつきます。地域資料は、3階地域資料室、または書庫に所蔵しています。

上記分類の災害関係の資料は、**公開室2(2階)**または**書庫**に所蔵しています(詳しくは館内案内図等をご覧ください)。

書庫の資料をお求めの際や、お探しの資料が見つからない場合は、お近くの職員にご相談ください。



2. 参考図書で調べる

災害・防災の事典(辞典)等のレファレンスブックをご紹介します。書誌情報横の記号の意味は、本紙の表面右上をご参照ください。

■災害・防災事典から調べる

・『日本歴史災害事典』

(北原糸子[他]／編 吉川弘文館 2012)【369.3/499】〈公2〉(館内)
平安期貞観年間から2011年まで、日本列島を襲った地震・津波・噴火・台風・火災などの災害を、災害のメカニズム・被害・復興・防災などの総合的な視点から個別に解説。専門用語解説・コラムも充実。特集として、「東日本大震災」を巻頭に重点掲載。

・「日外選書fontana シリーズ 災害・事故史」

①『地震・噴火災害全史』

②『台風・気象災害全史』

③『産業災害全史』

(日外アソシエーツ／編、発行 2010)

①【453.2/37】②【451.9/20】③【369.3/475】〈公2〉

かつて発生した日本の災害を、分野ごとに年表形式で通覧できるシリーズ。①②は地震・噴火、台風・気象災害等の「自然災害」を取り扱っている。③産業活動によって引き起こされた災害・事故を取り上げており、水質汚染、光化学スモッグ等の、所謂「公害」色の強い事件の掲載が目立つが、火災、ガス爆発、土砂崩れ、落盤等、「災害」色の強い事件の掲載も多い。

・『防災事典』(日本自然災害学会／監修 築地書館 2002)

【369.3/234】〈公2〉(館内)

「防災の『広辞苑』」を目指して監修された事典。災害・防災に関する用語を約3000語収録。

・『事故・災害レファレンスブック』

(日外アソシエーツ株式会社／編日外アソシエーツ 2015)

【369.3/652】〈公2〉(館内)

1990年から2014年に刊行された事故・災害に関する参考図書を紹介する目録です。

・『日本被害地震総覧 599-2012』

(宇佐美龍夫[他]／著 東京大学出版会 2013)【453.2/16/013】〈公2〉(館内)

・『自然災害と防災の事典』

(寶馨[他]／編、京都大学防災研究所／監修 丸善出版 2011)
【519.9/13】〈公2〉(館内)

・『防災学ハンドブック』

(京都大学防災研究所／編 朝倉書店 2001)【369.3/546】〈公2〉(館内)

なお、ここで紹介する資料は、当館所蔵の災害・防災関連資料の一部です。お求めの情報がみつからない場合は、調査相談カウンターの職員にお気軽にご相談ください。



3. テーマごとに調べる

災害・防災に関する様々なジャンルの本をご紹介します。
書誌情報横の記号の意味は、本紙の表面右上をご参照ください。

■災害×記録——東日本大震災を振り返る

・『震災復興 日本経済の記録』

(日本経済新聞社／編 日本経済新聞出版社 2012)【369.3/517】〈公2〉
日経新聞の紙面から当時の報道を振り返ることができる資料です。

・『証言記録東日本大震災』1～3

(NHK東日本大震災プロジェクト／著 NHK出版 2013)
【369.31/88/1-3】〈公2〉

・『3.11キロクのキロク 市民が撮った3.11大震災 記憶の記録』

(20世紀アーカイブ仙台／企画・編集 2012)【369.31/52】〈書庫〉

・『東日本大震災の記録』

(栃木県県民生活部消防防災課／編 栃木県県民生活部消防防災課
2013)【T369/292/C】〈地公〉

県がまとめた栃木県内の東日本大震災に関する記録です。

■災害×備える——防災意識を高める

①防災地図

・『日本列島ハザードマップ 災害大国・迫る危機』

(朝日新聞社／著 朝日新聞出版 2013)【369.3/585】〈公2〉
災害が起こり得る地域とその被害予想を紹介したハザードマップ。

・『なるほど知図帳日本の自然災害 危機の対策』

(昭文社 2012)【369.3/545】〈公2〉
日本で発生し得る自然災害を、地図を使い、オールカラーで分かりやすく解説。防災対策に関する情報も充実した資料。

・『帰宅支援マップ 大震災に備える、一時待機後に動く』

首都圏版 7版 (昭文社 2016)【369.31/46/016】〈公2〉

②防災マニュアル

・『今から始める地震対策 家族・社員を守る50の知恵』

(平山隆一／編著 改訂版 並木書房 2011)【369.31/26】〈公2〉
イラストを交え、大地震への対策をわかりやすく説明したハンドブック。

・『自分と家族を守る防災ハンドブック』(アーサー・T. ブラッド

レー／著、月谷真紀／訳 楽工社 2014)【369.3/634】〈公2〉
様々な災害時に共通して必要となる「もの・知識・技術」を解説。

・『防災・減災につなげるハザードマップの活かし方』

(鈴木康弘／編 岩波書店 2015)【369.3/642】〈公2〉

・『土砂災害から命を守る 知っておくべきこと+なすべきこと』

(池谷浩／著 五月書房 2014)【369.3/622】〈公2〉

③行政ハンドブック

・『わたし・わが家・わがまちの防災ハンドブック みんな が共に支え合う・男女共同参画の視点で取り組む』

(栃木県／編、とちぎ男女共同参画財団／編 2013)【T369/287/C】〈地公〉
※行政担当者・地域リーダー・団体活動者向け→【T369/289/C】〈地公〉

■災害×法律——法の観点から災害を考える

・『震災の法律相談』

(小倉秀夫[他]／編著 学陽書房 2011)【369.3/414】〈公2〉

・『弁護士のための水害・土砂災害対策QA 大規模災害から 通常起こり得る災害まで』

(日本弁護士連合会災害復興支援委員会／編著 改訂版 第一法規 2019)
【369.3/712】〈公2〉

・『災害対策マニュアル 災害からあなたを守る本』

(日本弁護士連合会災害復興支援委員会／編 商事法務 2010)
【369.3/399】〈公2〉

当館では、さまざまなテーマや課題に関する資料・情報の調べ方、入手方法に関する相談に応じています。お気軽にご相談ください。お問い合わせは右記のとおりです。

■災害×ボランティア——私たちにできることを考える

・『災害ボランティア論入門』シリーズ災害と社会5
(菅磨志保[他]／編 弘文堂 2008)【369.3/607】〈公2〉

・『東日本大震災とNPO・ボランティア 市民の力は
いかにして立ち現れたか』
(桜井政成／編著 ミネルヴァ書房 2013)【369.31/49】〈公2〉

・『復興支援ボランティア、もう終わりですか？ 大震災
のなかで見た被災地の矛盾と再起』
(中原健一郎／著 社会批評社 2012)【369.3/590】〈公2〉

・『災害ボランティア 新しい社会へのグループ・ダイナ
ミックス』(渥美公秀／著 弘文堂 2014)【369.3/627】〈公2〉

■災害×地名——地名から災害リスクを考える

・『地名は警告する 日本の災害と地名』

(谷川健一／編 富山房インターナショナル 2013)【369.3/597】〈公2〉

・『とちぎの地名を探る』

(埴静夫／著 随想舎 1996)【T290/200/C】〈地公〉

4. 防災情報をインターネットで調べる

・防災科学技術研究所(NIED)ホームページ (<http://www.bosai.go.jp/>)

地震災害、火山災害、気象災害、土砂災害、雪氷災害等の、多種に渡る観測・分析データをリアルタイムで公開しています。

また、各災害の基礎知識に関するページや研究データ等の防災情報も充実しています。

・防災情報のページ(内閣府)

(<http://www.bousai.go.jp/>)

全国最新の災害の被害情報を確認することができます。

・危機管理・防災ポータルサイト(栃木県)

(<http://www.pref.tochigi.lg.jp/kurashi/bousai/>)

栃木県のホームページ上で、災害・防災情報、栃木県県土整備部が所有する地図情報(土砂災害危険箇所マップ・地盤マップ・川マップ)、農政部が3.11原発事故以降実施している県産農作物の放射性物質のモニタリング検査の結果等、さまざま防災情報を確認することができます。

・宇都宮地方気象台

(<http://www.jma-net.go.jp/utsunomiya/index.html>)

栃木県内の気象観測データや、防災教育に関するページを公開しています。また、県内各自治体による防災情報提供サービスの一覧をリンクで公開しています。

5. 防災体験ができる施設の紹介

・栃木県防災館

(<http://www.t-bousaikan.jp/index.html>)

〒321-0414 栃木県宇都宮市中里町248

TEL: 028-674-4843

地震・火災・大雨・大風などの災害を疑似体験できる施設です。入館料は無料ですが、10名以上の団体での来館には、電話での事前申込が必要です。

栃木県立図書館 調査相談課 レファレンスサービス担当

火・金 9:00-19:00 土日祝 9:00-17:00
〒320-0027 栃木県宇都宮市埴田1-3-23
URL: <http://www.lib.pref.tochigi.jp/>
TEL: 028-622-5112 FAX: 028-624-7855
E-Mail: chousaka@lib.pref.tochigi.lg.jp

